

図書館だより

ノートルダム学院小学校
2018.10.1 (月)
No.6



あき よなが どくしょ
秋の夜長に読書！

10がつこうき すたーと にっちゅう すずしく すごしやすい気候になってきましたね。

あき 秋といえば「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「実りの秋」など、たくさんの楽しみがある季節です。また、「読書の秋」とも言われています。読書は決まった季節にするものではなく、年中するものですよ。でも特に、秋は夜が長く、過ごしやすい気候であるため、何事にも集中しやすい季節と言われています。みなさんも、秋の夜長に読書してみたいはいかがですか？

しゅうかん
読書週間 (10月27日～11月9日)

みなさんは、「読書週間」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？毎年、10月27日から11月9日までは、全国的に読書のよさを感じたり、大いに楽しんだりする週間とされています。ノートルダムの図書館には、いろいろな種類のたくさんの本が置いてあります。図書館に入ったところに置いてあるおすすめの本だったり、『ND読書

100選』に載っている本だったり……。普段は読まないような本も、少しだけ手にとって、パラパラと見てみましょう。新しい出会いがあるかもしれませんよ！

ほんよ この本読もう

『ぼくらがつかった学校 大槌の子どもたちが夢見た復興のシンボル』

作 ささき あり 出版社 佼成出版



震災で全てが失われた大槌町が取り組んだ

のは、子どもたちの夢を詰め込んだ新しい学校

づくり。「教室に緑を」「体育館に炊事場

を」……。理想の学校を考える授業で、子

どもたちは生きる意欲を取り戻していきます。

ひとりの少年の成長を通して、人がともに生き

ることの意味を描く感動ノンフィクションです。

今年は多くの天災に見舞われました。地震、

大雨、台風……。災害により、これまで当たり前と思っていた生活を失ってしまった

人が、どのようにその苦勞を乗り越えようと頑張っているのでしょうか。必ずしも、私

たちとは関係のない話ではありません。ぜひ、読んでみてください。

